

はじめに

2020年は、年始めから新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、4月には「緊急事態宣言」が発令されました。

先行きの見えない不安を抱く1年となりましたが、市では、「感染拡大防止と社会経済活動の両立」に向け、さまざまな取り組みを行いました。

1月～3月

●成人式・田沼意次マラソン
新型コロナウイルス感染症の拡大により、市のイベント開催にも影響が開始されましたが、予定通り開催されました。

●市ホームページリニューアル・市公式LINE運用開始
コロナ情報をはじめ、重要なお知らせを効果的に発信する体制を整備しました。

●(仮称)牧之原IC北側土地区画整理事業に関する業務協定を締結
市重点プロジェクトの高台開発が大きく前進しました。

●市公式スローガンが「RIDE ON MAKINOHARA」に決定



田沼意次マラソン(2月9日)

市民会議や皆さんからの投票を経て決定。このスローガンを旗印に、本市の魅力を市内外に届ける取り組みを進めています。

●「新型コロナウイルス感染症」
感染拡大により、3月3日(19日)、4月9日(5月17日)の間、市内小中学校を一斉休業するなど、学校生活にも大きな影響を及ぼしました。

4月～6月

●茶業への支援策
「静岡牧之原茶献上茶謹製」



献上茶謹製事業 茶摘み式典(4月11日)

事業」では、4月の茶摘み式典に始まり、皇室への献上、県知事への報告と、さまざまな場面で静岡牧之原茶のPRに努めました。

また、榛原総合病院をはじめとした全国の徳洲会系列病院への新茶寄贈や、市内小中学校へのコールドディスプレイなど、お茶の効能紹介と消費拡大に向け取り組みました。

●静波海岸マリンスポーツステーション運用開始
多目的トイレやシャワー、更衣室を備え、多くの皆さんに利用されています。



静波海岸マリンスポーツステーション 運用開始(6月1日)

●「新型コロナウイルス感染症」
全国的な感染拡大で、緊迫度が上昇しました。
政府は4月7日から5月25日まで緊急事態宣言を発令(静岡県は4月16日(5月14日))。市では、公共施設などの貸出制限や特別定額給付金の交付など、経済支援策などを実施しました。

7月～9月

●今夏の海水浴場開設を断念
不特定多数の行楽客に対して感染防止対策を徹底することや、海の事故に対する安全

2020年を振り返って

応じて、市民の皆さまに冷静な対応と拡大防止に向けた向けたメッセージを発信しています。

10月～12月

●GIGAスクール構想
教育環境の整備に向け、ネットワークの整備や端末の購入などを進めます。

●公立保育園等民営化の推進
公設民営で運営している静波保育園を令和4年4月から民営化するため、公立保育所民間移管審査委員会において審査。答申を受け、現在運営を委託している法人への移管の方向性を示しました。

●学校再編計画 市民意見交換会
学校再編計画策定委員会が、素案策定にあたり、市民意見



を聞くために、各小学校区で開催しました。
●県内在住の歌手、橋幸夫さんが来市
広大な茶園の中で静岡牧之原茶を味わう様子などを収録。12月1日には動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開されました。

●田沼意次侯銅像募金が目標金額を達成
生誕300年記念事業実行委員会が主体となり、銅像建立を目指した募金が、目標金額を達成しました。

今後、令和3年5月下旬の除幕を目指し、銅像の制作に着手します。

●「新型コロナウイルス感染症」
冬季を迎え、感染拡大傾向となつています。12月6日現在、市内では10例の感染者が

確認されています。
最新の情報は、市ホームページをご覧ください。

おわりにー2021年への展望と期待

「サーフスタジアムジャパン株式会社」が建設中の「静波サーフスタジアム」は、来年春の開業に向けて準備を進めています。この施設が、市の目指す沿岸部活性化やオリンピックレガシーの創出に大きく寄与することを期待しています。

令和3年4月のオープンを目指し、「ミルキーウェイスクエア」(波津区)内に図書交流館「いこつと」の整備を進めています。図書を通じた交流やにぎわい空間の創出を図ります。

確保が困難であると判断し、苦渋の選択となりました。
●RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーン
海水浴場開設中止に伴い影響を受けた宿泊業者などへの支援を目的に実施。市内宿泊施設への誘客につなげました。旅館・民宿の皆さまとも連携し、官民一体となって誘客キャンペーンに取り組みました。7月下旬と8月中旬には、「おもてなし」と新型コロナウイルス感染症の早期終息を祈願する「ウェルカム花火」を打ち上げました。
●プレミアム商品券事業
経済対策として、20%のプレミアム率をつけた総額3億6千万円分の商品券を発売。約2カ月で完売し、市内経済活性化につなげました。

3月に、要配慮者用放射線防護施設、地頭方原子力防災センター「ジーボ」が完成しました。11月からは相良放射線防護施設の造成工事を開始し、市民の皆さまの生命を守るため、迅速な整備を進めます。

最後になりますが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな事業が中止や延期を余儀なくされましたが、「ウィズコロナ」を見据え、市民の皆さまの安心・安全を第一に市政を運営してまいりました。

来る令和3年は、東京五輪も予定どおり開催され、希望に満ちた1年であることを願っています。

令和2年12月
牧之原市長 杉本久雄



市の公式スローガンが「RIDE ON MAKINOHARA」に決定(3月25日)